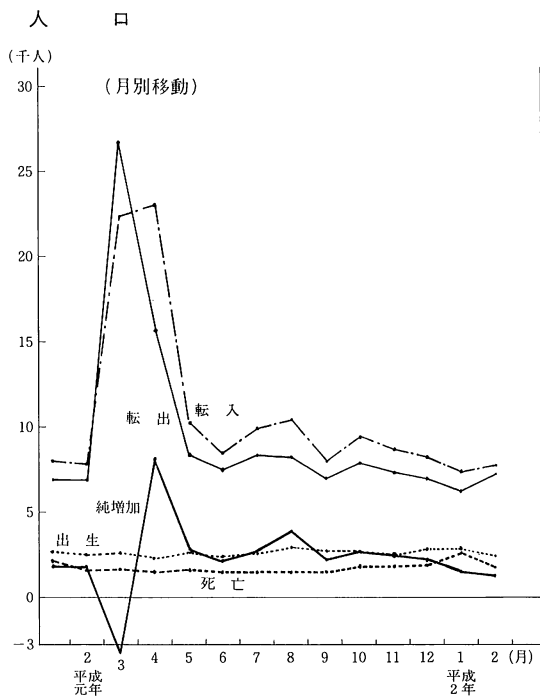
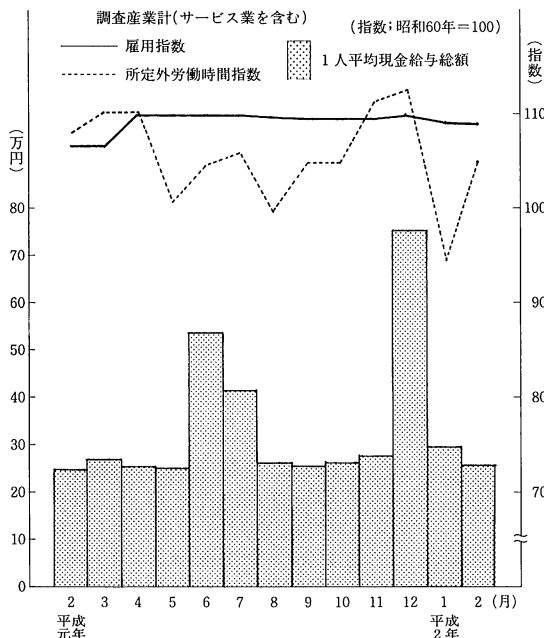


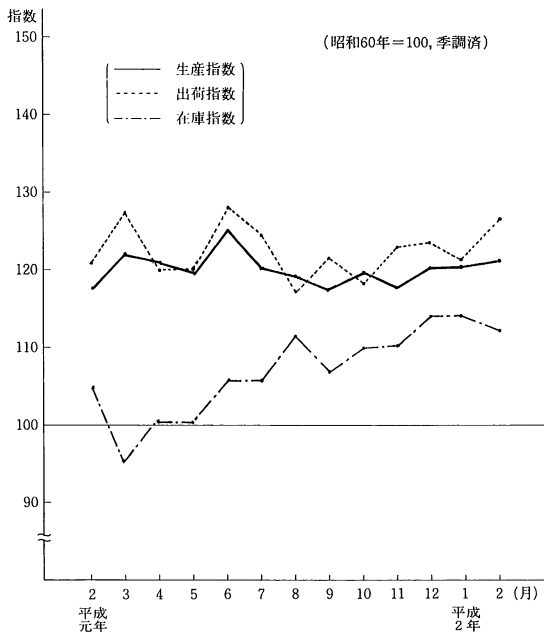
# 今月の主な動き



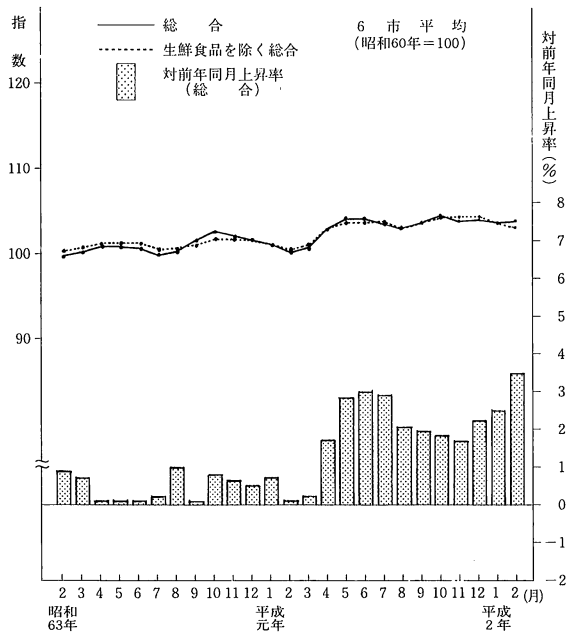
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (3月1日)

本県の人口は、2月中に1,193人増加し、3月1日現在で2,835,286人(男1,413,393人, 女1,421,893人)となった。

内訳は、自然動態で506人(出生2,229人, 死亡1,723人)増加し、社会動態で687人(転入7,794人, 転出7,107人)増加した。対前年同月と比べると27,417人(0.98%)の増加である。

ある。

市町村別では、増加が13市42町村, 減少が7市23町村, 増減なしが3町村である。

世帯数についても2月中に586世帯増加し819,212世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (2月)

1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で257,199円, 前年同月比2.7%増(前月は11.0%増)であった。このうちきまって支給する給与は256,014円, 前年同月比2.8%増(前月は3.7%増)であった。

また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は225,462円で、前年同月比3.2%増(前月は3.6%増)であり、超過労働給与は30,552円で、前年同月比0.8%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比0.8%減であった。

2. 労働時間

2月分の総実労働時間は、調査産業計で172.4時間, 前年同月比2.3%減(前月は3.4%減)であった。このうち所定内労働時間は153.7時間で、前年同月比2.3%減(前月は3.6%減)であった。

また、所定外労働時間は18.7時間, 前年同月比は3.0%減(前月は1.2%減)であった。

3. 雇用の動き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比2.0%増(前月は2.2%増)であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (2月分)

本県における平成2年2月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.6, 出荷が127.2, 在庫が112.4で、前月比は、生産が0.6%の上昇, 出荷が4.4%の上昇, 在庫が△1.8%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が2.8%の上昇, 出荷が5.0%の上昇, 在庫が7.2%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、化学工業、精密機械工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、一般機械

工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、その他工業等が低下した。在庫では、鉱業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、非鉄金属工業、繊維工業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、資本財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財が低下した。出荷では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財が低下した。在庫では、非耐久消費財、建設財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (2月)

平成2年2月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.5(昭和60年=100)となり、前月比0.5%の上昇, 前年同月比4.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草12.2%, 乳卵類3.9%, 果物3.7%, 教養娯楽耐久財1.8%

今月下がった主な項目……シャツ・下着△3.3%, 衣料△2.6%

生鮮食品を除く総合は103.7となり、前月比△0.2%の下落, 前年同月比3.0%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	104.5	0.5	4.1	保健医療	104.9	0.1	1.7
食 料	105.2	1.7	6.0	交 通 通 信	102.3	0.0	2.2
住 居	112.8	0.1	3.1	教 育	116.8	0.1	3.2
光熱・水道	88.0	0.0	0.5	教養娯楽	107.7	0.1	4.7
家具・家事用品	99.6	△0.8	0.7	諸 雑 費	105.8	0.3	2.1
被服及び履物	102.7	△2.2	4.9	生鮮食品を除く総合	103.7	△0.2	3.0